

功績概要

【芸術文化分野】 菅生 和光 80歳 音楽家

同人は、大学在学中の昭和41年に三重県初の市民バンド「上野バンドアカデミー」を設立し、現在まで56年の長きにわたり指導を続けてきた。また、伊賀市初の管弦楽団「伊賀コミュニティオーケストラ」や「ワコーズウインドオーケストラ」の設立のほか、高校の音楽教諭として、木本高校や名張高校、名張桔梗丘高校、上野高校の吹奏楽部を東海大会に導き、優れた成績を収めた。

さらに、東海吹奏楽連盟の常任理事や三重県吹奏楽連盟の副理事長などの要職を歴任し、三重県の吹奏楽の普及に貢献してきた。

これらの活躍により、昭和54年に「日本吹奏楽指導者協会」優秀指導者賞、平成15年に「全日本吹奏楽連盟」役員表彰を受賞するなど、数多くの優れた功績を収めた。

この他、三重県で開催された「第30回国民体育大会」や「第31回全国植樹祭」において主任指揮者として式典音楽隊を指導・指揮し、式典の成功に大きく貢献した。

また、吹奏楽の指導・指揮以外に、社歌・校歌・園歌などの作曲やピアノコンクール・コンサートの立ち上げ、地域の和太鼓集団の設立など、幅広い音楽活動を行ってきた。

これらの功績により、令和3年には三重県文化賞文化大賞を受賞した。

氏の永きにわたる活動において、本県における音楽文化の振興発展に果たしてきた功績は極めて大きい。

【芸術文化分野】 三重ヴォークスボーナ 合唱団

三重ヴォークスボーナは、昭和27年にNHK津放送局専属の「NHK三重放送合唱団」として創立され、昭和38年に一般合唱団となり、団名も三重ヴォークスボーナに改称した。「皆に親しまれる市民合唱団」、「技術的向上を目指す」を二本柱に合唱活動を続け、今年で創立70周年を迎えた。

全日本合唱コンクール全国大会では、平成4年と平成5年に銅賞、平成15年に銀賞を受賞するなど、優れた成績を収めている。三重県内においても昭和46年に三重県文化奨励賞、平成6年に津市文化奨励賞、平成15年に三重県文化賞文化功労賞を受賞している。

定期演奏会では、ミュージカルや合唱オペラなどの動きのあるステージを取り入れ、昭和28年の第1回定期演奏会の開催以来、これまでに64回開催している。平成14年の創立50周年記念第46回定期演奏会では、能や狂言を基にした合唱オペラ「幽玄」を上演し、大成功を収めた。

また、年に一度の定期演奏会やコンクールへの出場のほか、教会でのクリスマスコンサートの開催や三重県合唱祭、津市民音楽祭への出演など、地域に根差した活動も大切にしている。

さらに、当団体の歴代の指揮者や音楽監督は三重県文化賞文化大賞、文化功労賞を受賞した、三重県を代表する音楽家であり、そのような人材を育ててきたことも当団体の偉大な功績の一つである。

当団体のこうした活動は、本県における音楽文化の振興に寄与しており、果たしてきた功績は極めて大きい。